

濃飛きた・みなみ
保険者シリーズ

ちょっと気になるまち ぎふ瑞穂

瑞穂市

JR穂積駅から名古屋まで最速 25 分。

利便性が高く住みやすいまちです。

若い世代が多く転入しており、

瑞穂市の平均年齢は 40.20 歳 (2010 年) です。

人口増加・躍進を 続けるまち

平成15年5月、旧穂積町と旧東南町が合併し、瑞穂市が誕生しました。位置は濃尾平野の北西にあり、市の東側には清流長良川、西には揖斐川が流れ、市内には18本の一級河川が流れる、水に恵まれた自然豊かな地域です。また名古屋まで電車で最速25分と利便性が高く住みやすいことが評価され、特に若い世代が多く転入しています。近年は子育て世帯の方が多く転入され、マイホームを構えるなど本市に住み続けることを希望される方が増加傾向にあり、成長・



小簾紅園



中山道

職員が出向く ワンストップ対応

国民健康保険業務を担当する医療保険課は、課員12人、補助職員2人の計14人で国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療、国民年金の業務にあたっています。また、5箇所ある窓口では担当業務に関係なく対応ができるように課内研修や連携を密にすることを心がけ、全員で納税相談に取り組み徴収強化を図っています。さらに、市民課と隔てるものがないフロアにあるため、住民異動による手続きでは職員がお客様の席に向くワンストップ対応をしています。



医療保険課職員

前回健診結果の送付で 受診意欲を高める

当市は個別健診を採用しており、平成28年度の受診率は43.5%と県内上位を維持しています。しかし、受診率を年代別に分けると男女共に40〜50歳代の受診率が低いため、受診率向上に向けた取り組みが必要です。1つ目の受診率向上の取り組みとして、受診券送付時に前回結果を同封しています。過去の健診結果を確認することで「今年も受診しよう」と受診意欲を高め、健診受診時に持参することで、医師判定の補助や相談材料として活用することができました。

2つ目として、昨年度は受診率の低い40〜50歳代へ受診勧奨ハガキを送付しました。平成28年度の40〜50歳代の受診率は平成29年4月時点で25.6%となっています。今年度も勧奨ハガキの送付は継続して実施し、受診率アップを目指します。

また、広報活動としては、市広報や自治会の巡回覧にチラシを入れたり、医療機関や金融機関等にポスターの掲示を依頼しました。また、地域で行われた出前講座で健診事業の説明も行い周知に努めています。

徴収困難な案件には プロジェクトチームが対応

当市では保険税の収納率の向上対策として、滞納世帯には短期証を交付し、継続的な納税と交渉の機会を設けております。また、滞納者に対して年4回の催告書の発送、財産調査、預金のみならず幅広い財産の滞納処分を行っています。その結果、滞納繰越分の収納率は平成25年の18.93%から年々向上し、平成28年度は31.19%となる見込みです。さらに、市全体で収納対策推進プロジェクトチームを設置し、徴収困難な案件に合同で取り組んでいます。

納税機会の確保としては、コンビニ納付や、ペイジー口座振替受付サービスを取り入れたり、口座振替において納期で振替不能となった納税者への再振替を行っております。しかし、現年分の収納率の向上に苦慮しており、口座振替の推進等さらなる対策が必要であると考えています。

広域化に向けて 課題の整理と議論が必要

平成29年度は広域化に向けた準備の年度です。現在のところ8月の最終試算を目処に事業納付金の仮算定



職場風景

特定健診の受診率(法定報告値)

	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)
平成24年度	7,611	3,316	43.6
平成25年度	7,661	3,369	44.0
平成26年度	7,655	3,540	46.2
平成27年度	7,530	3,464	46.0
平成28年度	7,330	3,188	43.5

※平成28年度は
平成29年4月3日現在

	収納率(%)		口座振替率(%)	差 押	
	現年度	滞納繰越分		件数	充当金額
平成25年度	90.94	18.93	57.14	175	18,888,342
平成26年度	91.27	22.38	55.44	194	24,026,817
平成27年度	91.87	27.25	57.88	300	24,081,519



伊久良河宮跡



富有柿発祥の地